

# 駅前整備の要望に、市前向き

## 西ノ京駅周辺 歩道狭く、さまざまな危険性

近鉄西ノ京駅は、通勤通学で利用される方々や地域・地元の方々、また県総合医療センターで勤務したり、患者の方々など多くの皆さんが利用されています。しかし周辺＝写真＝はバスロータリーへ行くため、車をすり抜けて車道を横断する状況も見受けられます。歩道が整備されていない狭い道路は、さまざまな危険性が指摘されています。

地元の自治会、水利組合などの皆様と集まり、市のコンサルタント派遣の制度

を活用して「安全な駅前に整備」という地域の願いを具体化したイメージ図を描き、昨年度に市に提案しました。

市議会の一般質問で私は駅周辺の課題と現状を説き、道路と駅前広場の早期整備を求めました。市は、道路の用地取得を進めており、取得率は90%になっている現状を説明。残りの用地についても、交渉を進め、早期に工事に着手できるよう努めていると答弁しました。

また、駅前広場については「西ノ京駅



の朝夕の混雑は十分認識しており、整備の必要性を感じている」とし、まずは道路の進捗を図りながら、地域の皆様や鉄道事業者をはじめ関係機関と協議していくと、整備に向けて前向きな姿勢を見せました。

# 民間感覚と乖離した経営の改善求める

## 奈良市美術館 収入増の工夫と取り組みを

奈良市二条大路南1丁目の商業施設ミ・ナラに入居する奈良市美術館＝写真＝は貸館事業を行っており、この貸館事業



が美術館の主要事業になっています。令和4年度を見ると、年間収入は計488万円でした。

一方、美術館の賃料や共益費など市の支出は年間2000万円。これに運営団体に支払う指定管理料を加えると年間5700万円の経費が掛かっている計算で、民間の感覚とは乖離した「赤字経営」の状態です。

488万円の収入に対し、5700万円を支出している美術館事業に私は無理や無駄があるのではと指摘し、今後の運営について市の考えをただし、収入増の工夫と取り組みを求めました。

## ICTを活用した行政で市民サービスを向上

奈良市は今年度から観光情報や市内加盟店で使えるポイント機能、イベント情報やキャンペーンなどを発信するアプリ「SHIKA no ASHIATO」＝写真＝をリニューアルしました。

私はこれまでICTやDXを活用した行政の市民サービス向上を訴え、市に改善と工夫を求めました。このアプリについても、既存の情報発信だけでなく、活用の広がりを持たせていくことを要望しています。



# 国宝級の出土品で新たなにぎわい創出を

## 富雄丸山古墳

## 教育や周辺施設との連携提案

奈良市の富雄地域にある「富雄丸山古墳」から出土した「蛇行剣」＝写真＝は、全長237センチの長大な鉄剣で、世界的にも出土例のない長大な鉄剣です。将来的には国宝とも目されています。さらに盾形銅鏡が出土して注目を集めています。

この国宝級の出土物について私は、展示ができるミュージアムのような施設が必要ではないかと提言し、教育や周辺施設と連携した観光面でのにぎわい創出の計画を提案しています。



## 地域への過度な業務移管は負担を危惧

奈良市には49の自治連合会があり、このうち18の地域で自治協議会があります。市は地域へ業務の移行や移管を進めていこうとしています。防災や防犯、地域おこしなど、活性化に向けてそれぞれの地域で取り組んでいただいているのですが、高齢化が進み、担い手不足が深刻化している現状もあります。

これ以上の業務移行や移管は、地域が対応し切れずトラブルになる可能性もあり、受け入れ可否など十分な議論と検討を行い、地域との合意形成を丁寧にすることを要望しました。